

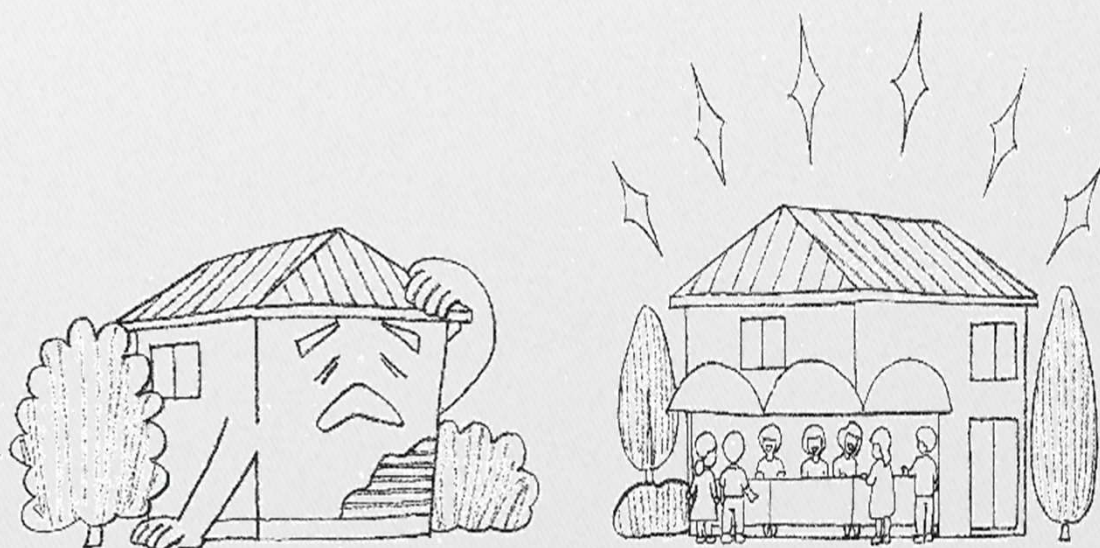
東大阪市における空き家活用事例集

本市では、平成29年度より空き家の総合窓口として、管理不全な近隣空き家に関する通報や所有する空き家を地域の活性化に役立ててほしい、空き家を手放したいが売れない等、様々な相談を受けています。

このような市民の皆様からのご要望にお応えするため、空家対策課では、地域での空き家の活用にご理解いただいた所有者等と、地域で活動をされている事業者等とのマッチングを行っています。

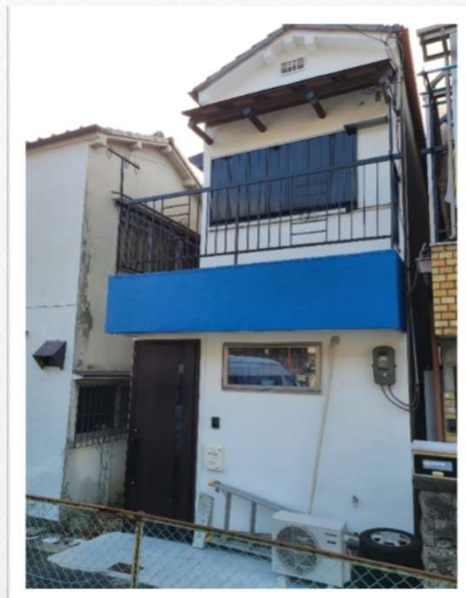
売却できない、使えない空き家についても、NPO団体等に依頼をして、新たな住宅としてリフォームし、利活用してもらう取り組みを行っています。

今回、このような取り組みにより地域で利活用されている空き家の一例をご紹介します。



事業者 NPO法人 24時間みまもり社会を創る会・笑顔

事例①



老朽化により外壁が崩落した接道のない空き家を
引き取ってもらい、リフォームを行いました。

事例②

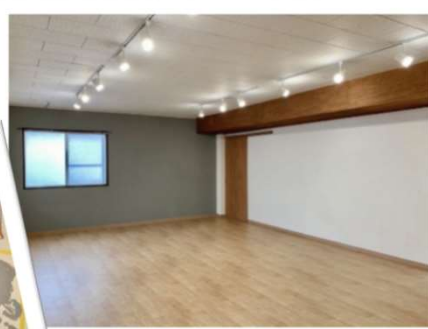


火災により放置された接道のない木造2階建の空き家を
引き取ってもらい、平屋建てにリフォーム
しました。

事業者
設計・施工

NPO法人 親子deカフェあん
フーシャアーキテクチャ

事例③



元福祉施設の1階を子育て支援施設としてリノベーション。施工者サポートのもと、事業者と子ども達で壁に絵を描くDIYワークショップを開催しました。子育て世帯が自由に利用できるスペースと一時預かりを運営しています。

事業者

SEKAI HOTEL株式会社

事例④



着物屋だった建物をホテルの客室にリノベーション。まち全体を一つのホテルに見立てて運営しており、フロントや客室はまちに点在しています。



事例⑤

事業者 株式会社 日本ハピネス



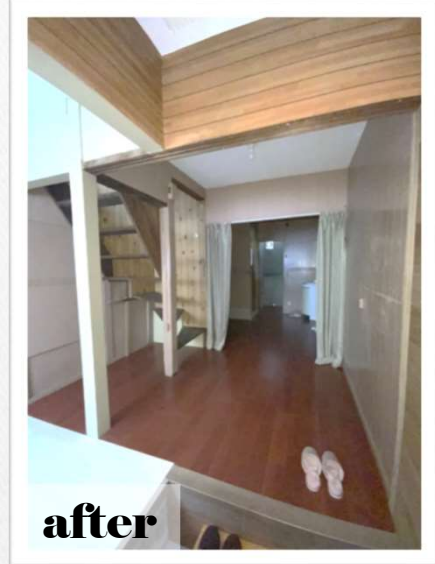
空き家解体後、更地になっていた土地の所有者様に地域で福祉活動を展開されている事業者が土地を探していることをお伝えし、土地の活用にご協力いただきました。



地域で障がい者グループホームや就労支援B型、高齢者施設を展開される事業者が、土地所有者のご協力のもと、グループホームと地域食堂をオープンしました。この地域食堂は、地域の子ども・お年寄り・シングル家庭・社会復帰を目指す方などに対して、食事を通して地域コミュニティが形成できる場として、広く活用されています。

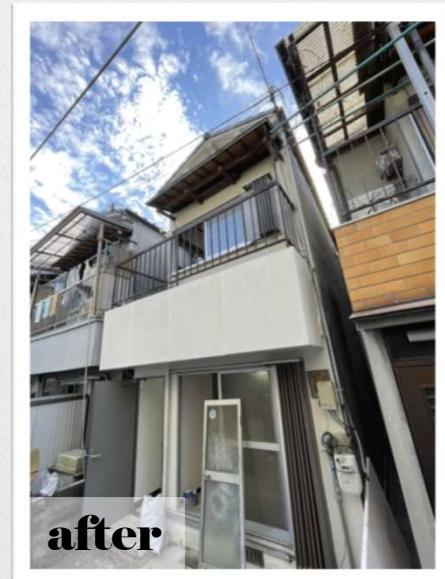
事業者 NPO法人 空き家生まれ変わり協会

事例⑥



老朽化により内部がボロボロになった空き家（長屋の一戸）を引き取ってもらい、リフォームが完了しました。

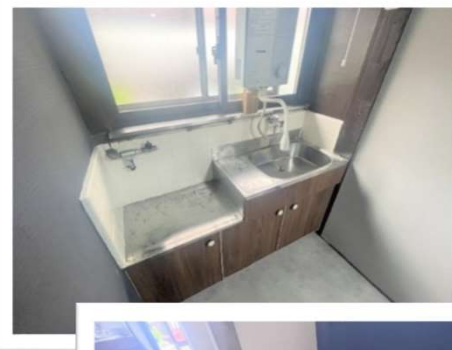
事例⑦



老朽化により外壁が崩落した接道のない空き家の相続関係を整理して引き取ってもらった上でリフォームが完了しました。

事業者 NPO法人 空き家生まれ変わり協会

事例⑧



25年前に火災で内部が焼失した状態で放置されていた4軒長屋の1軒の空き家を買って取り、リフォームが完了しました。